



Фестиваль российской культуры в Японии-2012

現代ロシア音楽を代表するオーケストラ、久々の登場
来日公演45周年・創立61周年

ユーリー・シーモノフ 指揮

モスクワ・フィルハーモニー 交響楽団



ソリスト：ヴァイオリン
ニキータ・ポリソグレブスキー
(第13回チャイコフスキー国際コンクール・ヴァイオリン部門
第2位、2010年シベリウス国際ヴァイオリンコンクール優勝)

- 2012年12月5日(水) 東京・ティアラこうとう 19時開演
- 6日(木) 武蔵野市民文化会館 19時開演
- 8日(土) 茅ヶ崎市民文化会館 15時開演
- 9日(日) 横須賀芸術劇場 14時開演
- 10日(月) 東京芸術劇場 19時開演
- 11日(火) 松戸・森のホール21 19時開演
- 12日(水) 小山市立文化センター 19時開演

招聘：ロシアン・アーツ ロシア文化フェスティバル組織委員会
後援：ロシア連邦文化省・外務省 駐日ロシア連邦大使館 ロシア連邦協力庁 日協会



モスクワ・フィルハーモニー交響楽団

1967年の来日公演以来45周年を迎えるモスクワ・フィルハーモニー交響楽団は、1951年にモスクワを本拠地として創立され、初代首席指揮者はサムイル・サモソドでソ連作曲家の新作上演、オペラの演奏会形式による上演を行い注目をあびた。60年から76年にかけてはキリール・コンドラシンが首席指揮者になり、高度な演奏水準に拍手が送られ、ショスタコーヴィチの世界初の交響曲全集を録音した。1963年から欧米各地のコンサートツアーが成功、日本には67年に来日、最近ではフジ子・ヘミングとの共演などで話題をまいた。1998年からユーリー・シーモノフが首席指揮者を務める。



Yuri



Simonov

ユーリー・シーモノフ

1941年サラトフ生まれ。レニングラード高等音楽院アルト楽器科(Yu・クラマロフ指導)を卒業(1965年)後、指揮科(N・ラビノヴィチ指導)を卒業(1969年)。1968年、シモノフは国際コンクールで優勝したソビエト最初の指揮者となった。それは国立サンタ・チェチーリア・アカデミー主催の第4回ローマ・サンタ・チェチーリア指揮者コンクールでのことであった。E・A・ムラヴィンスキーはすぐに彼を助手として自分のオーケストラに入れ、レニングラード・フィルハーモニー交響楽団のシベリア公演に同行させた。以来40年以上、シーモノフとこの高名な楽団との創造的関係が続いている。サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団の大ホールでの定期公演の他、同楽団のイギリス、オーストリア、ドイツ、スイス、フランス、オランダ、スペイン、イタリア、チェコへの外国公演にも参加していた。

1969年1月、Yu・シーモノフはヴェルディのオペラ「アイダ」でポリショイ劇場デビュー、そしてその翌年2月から、晴れがましいパリ公演の後、ポリショイ劇場首席指揮者に任命され、そのポストに15年半というのは大記録である。シーモノフのいた期間は、ポリショイ劇場の歴史でもっとも輝かしく有意義な時期であった。1980年代、90年代にシーモノフはロンドンのコヴェント・ガーデン王立歌劇場やパーミンガム、ロサンゼルス、ハンブルグ、マルセーユ、ジェノア、フィレンツェ、サンフランシスコ、ダラス、プラハ、ブダペストやパリの、世界でも最大級の劇場で数々のオペラ公演を行った。

1982年、ロンドン交響楽団に一連のコンサートシリーズの指揮を依頼されて招かれ、以来何度も共演している。同

様に、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、日本の交響楽団とも共演。イギリスのエジンバラ・フェスティバルやソルズベリーフェスティバル、アメリカのタンゲルウッド音楽祭、パリでのマーラー音楽祭やショスタコーヴィチ音楽祭、「プラハの春」、「プラハの秋」、「ブダペストの春」といった世界最大級のフェスティバルに参加した。

2001年、シーモノフはブダペストにリスト・ワーグナーオーケストラを設立。すでに30年以上彼はハンガリー国立オペラ劇場の常任招聘指揮者であり、その期間に「ニーベルングの指輪」4部作を含むワーグナーのほとんど全てのオペラを上演した。

1998年からユーリー・シーモノフはアカデミー交響楽団モスクワフィルハーモニーの芸術監督兼首席指揮者である。彼の指揮下で同オーケストラは短期間のうちにロシア最良のオーケストラのひとつを蘇らせた。2010年11月、ストラズブルグ・フィルハーモニーオーケストラとの共演が行われ、ブラバント・オーケストラ(ドイツ)でのコンサートも行われた。

ユーリー・シーモノフはソ連人民芸術家(1981年)、ロシア連邦名誉勲章受章者(2001年)、2008年度文学・芸術部門モスクワ市長賞受賞、「音楽時評」紙の格付けによる「今年の指揮者」(2005-2006年および2010年)。また、ハンガリー共和国「将校の十字架」賞、ルーマニアの「騎士団長」勲章、ポーランドの「文化部門功労勲章」を受賞している。2011年3月、マエストロ・ユーリー・シーモノフは「祖国貢献勲章第4等」を受勲した。